

2021年度 メリー★ポピンズ 稲城ルーム本園分園

事業計画書

1 基本方針

園や子どもの姿8のポイントを掲げる。これら8のポイントを定着させ、保育の安定供給を目指す。

- ① 子どもにとって真に必要な機会を用意して、生きる力の有る心も体も逞しい子を育てる。
- ② 異年齢保育・座禅・雑巾がけ・リズム体操・散歩9時出発・畑仕事・裸足保育・テラス給食・商店街ツアー・銭湯でお風呂の日・青空保育を実施する。
- ③ リアルな経験・体験をもとに自分の力で健康で安全な生活をつくりだす力を養う。
- ④ 室内・室外ともに子どもが自発的に関わる環境を設定する。
- ⑤ 感じたことや考えたことを水・砂・土・紙・粘土を使用した造形・描画にて表現する。
- ⑥ 食育方針（1）調理員・保育士・施設長はこどもと一緒に食べる （2）噛む力を育て素材の味を味わえる状態で提供する （3）子どもが自分たちで盛付・配膳して食べる を基本として食欲と意欲を育てる。
- ⑦ 地域の核となる地域に開かれた子育て支援を実施する。
- ⑧ 保育の課題等への共通理解や協同性を高め、保育所全体としての保育の質向上を図っていくための園内研修を計画的に実施する。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

- ・「子どものこと」をもっと語り合える時間を捻出する。

保育の質の向上のためには「子ども理解」が必要不可欠である。デイリープログラムを確立し、職員の休憩時間を確保しつつ、昼礼等を利用し計画的に保育の振り返り、エピソードを交え話していく。保育士、看護師、栄養士、調理員、正職、補助員、本園、分園とも分け隔てなく共同作業を進め、意見が言い合える風土を作り同僚性を生み出していきたい。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

- ・保護者の目線に立ち、必要としている支援を。

子育てについて保育園の考え方、保護者の考え方をお互いに話せる環境をつくり、一緒に子どもを育てているという意識をもち、信頼関係を構築していく。時には看護師、栄養士などにも相談できるように機会を作っていく。

- ・見えない保育からの脱却を。

園の活動の様子をわかり易く伝えられるツールを用い発信する。今年度も「いなぎっこ通信」で施設長からの視点での発信をしていく。またお迎え時や保育参加、個人面談、保護者懇談会等の機会を活用し、家での様子、園での様子を相互に伝え合う。

〈3〉 地域の子育て支援事業

- ・地域に根付き、地域の人々を支え、支えられる関係を築く

交流行事や日常の園外活動（散歩など）を通して、園周辺の近所の方々、商店街、老人ホームの方々、市の機関、小学校、幼稚園と繋がりを持ち、子育て世代だけでなくあらゆる世代の方と互いに顔が見え、声をかけ合える関係をつくる。

地域の活性化に貢献し、災害の際には助け合い、人と関わり合える楽しさや互いに生きる喜びが感じられる関係をつくっていく。

地域の方の保育所体験や出産を迎える親の体験学習を通して、育児不安の軽減に繋げていく。また、子育て講座を実施することで保育園を知ってもらう。

〈4〉 次世代を担う職員育成(園長が力を入れて取り組みたい内容)

子どもを一人の人間として尊重し、一人ひとりの心情・意欲・態度を見て、どう感じているかを考えられる視点を持てるよう、エピソード研修など取り入れながら保育者の倫理観、ひいては人間性を育てていきたい。そのためには、保育者同士がお互いに認められ、受け入れられると感じる同僚性の高い職場環境づくりが欠かせない。協働する時間を多く持ち、保育者も一人ひとりが認められる環境づくりをしていく。

〈5〉 食育活動(園長が力を入れて取り組みたい内容)

食育は厚生労働省「保育所における食事に関する指針」の通り「食を営む力」として

「おなががすくりズムのもてる子ども」

「食べたいもの、好きなものが増える子ども」

「一緒に食べたい人がいる子ども」

「食事づくり、準備に関わる子ども」

「食べ物を話題にする子ども」の5つの子ども像を目標にする。

日々の食事を何よりも大切に子ども達の食への意欲を高められるような関わりが出来るように環境を整え、支援していく。クッキングや畑仕事は欲張らず丁寧に進め、子どもも職員も楽しんで活動できるようにしていく。

2 児童定員

本園

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	6人	6人	16人	16人	16人	66人

分園

0歳児	1歳児	2歳児	合計
6人	10人	10人	26人

3 保育園開所時間

7時00分～20時00分

4 職員配置

常勤職員	17人	保育士	13人	看護師	1人	栄養士	3人	調理員等	0人
パート職員	15人	保育士	12人	補助	1人	事務	1人	調理	0人
		用務	1人						
嘱託職員	2人	嘱託医	2人		人		人		

5 運営方針

<1> 運営管理を円滑に行うために以下の施設内会議を勤務時間内にて開催します

施設内会議名	頻度	主な内容
園会議	月1回120分	保育計画の確認、自己評価、園内研修等
給食運営会議	月1回	乳幼児の喫食状況を把握、食育の目標について食育活動の周知、献立の振り返り等
ケース会議	月1回	要支援児の姿、個別計画、振り返り等
事故防止委員会	月1回	自園、他園で起きた事故について周知する、どうすれば防げるか対策や意識の共有等
昼礼会議	随時	子どもの姿、クラス報告、保育計画・行事の確認、伝達、事務連絡、子どものエピソードや外部研修で学んだことの共有等
子育て支援会議	月1回	保育体験の実施状況、青空保育の活動による地域の方々の反応、見直し等
クラス会議	随時	子どもの姿、保育計画、振り返り、本園分園合同クラス会議等

-2以下の法人が定める施設外会議に勤務時間内にて出席します

施設外会議名	頻度	主な内容
施設長会議	月1回	法人全体の動向報告、各園の運営状況報告等
施設長勉強会	月1回	外部講師による講義、グループ毎による各園の保育活動の取り組み発表、評価、振り返り等
事故防止委員会	月1回	法人の園で起きた事故から各園で未然に防ぐためのディスカッション等
保育の質を上げる会議	月1回	グループ毎による各園の保育活動の取り組み発表、評価、振り返り、その都度テーマに沿ったディスカッション等
食育会議	年4回	食育計画の見直し、各園の食育の取り組み発表等
保健会議	年4回	保健計画の見直し、各園の保健の取り組み発表等

<2> 各種係を設置し職員全員が参加して運営します

係名	職務内容・役割
衛生管理係	児童健康管理、感染症予防対策、予防接種状況の把握と啓蒙 月毎の保健計画の実施、保健に関する書類作成等
安全対策係	設備点検、人権チェック、事故記録、インシデント、ヒヤリ ハット記録、分析管理、衛生推進者の職務遂行等
防火管理者	消防計画の作成と届け出、自主検査チェック（日常）避難、 消火、通報訓練の実施管理、防災対策、自衛消防隊の編成等
食品衛生責任者	衛生管理点検表、職員細菌検査実施、食品衛生上の管理等
畑係	畑の管理、年間計画実施等
生き物係	生き物の飼育管理等
伝達チェック係	伝達ノートの伝言がきちんとなされているか、記入漏れがな いか確認等
掃除チェック係	掃除がしっかりされているか、掃除表の記入漏れがないか確 認等
園・保健日誌係	園・保健日誌の記入がされているか確認等
食育係	保育士と栄養士との懸け橋になって食育活動をすすめていく 、食育計画がすすめられているか確認等
写真係	毎月の写真販売の確認（ぶれていたり、同じ写真の消去等）
保育環境係	保育室、テラスの環境整備、教材、絵本の入れ替え等

<3> 対外的に以下の係を設置します

係名	職務内容・役割
地域交流係	地域の担当の方との交流計画の作成、連絡、実施等
どろんこ祭り係	保護者との交流計画の作成、連絡、実施等

6 保育方針

<1> 基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者と信頼関係を築き、安心できる環境の中で食事、睡眠などの生活リズムを整え、のびのびと体を動かすことを楽しむ ・身近な人と親しみ、関わり合いを深める中で、人と関わる心地よさを感じる ・身の回りのことに親しみ、見る、触れる、探索するなど身近な環境に自分から関わろうとする
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から体を動かすことを楽しみ、様々な動きを試みようとする ・身近な環境に親しみ、触れ合う中で様々なものに興味関心をもつ ・様々な感覚を経験し味わいながら、感じたことや考えたことを自分なりに表現しようとする
幼児保育	上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身に付け、喜びながら意欲的に生活する

	3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢で生活をする中で思いやりの心、協力し合う心を養うと共に達成感を知る ・身近な人と親しみ、関わりを深めるとともに工夫したり協力したりする楽しさを味わい信頼感が育つ
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で、自分から関わったり発見したり考えたり、扱ったりする中で様々な事象へと興味関心が広がる ・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わい、人と伝え合う喜びを感じる ・自然の美しさや生活の中でのイメージを大切にし、自分が感じたこと考えたことを自分なりに表現することを楽しむ
保育参加	4～3月	● 希望する保護者が参加／保育参加アンケートにご記入いただく
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> ● 随時、希望する保護者に対し実施 ● 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望 への対応	随時	● 連絡帳・口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い、「苦情受付簿」の活用
運営委員会	年2回	● 保護者懇談会の後に実施予定

〈2〉 年間行事計画

- 2021年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2021年度年間スケジュール」に掲載
- 保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉 給食・食育運営方針

- ・どろんこ会の食育方針 ((1)調理員・保育士・施設長は子どもと一緒に食べる (2)噛む力を育て素材の味を味わえる状態で提供する (3)子どもが自分たちで盛付・配膳して食べる) を基本とする
- ・多くの人に囲まれ楽しく食べる環境を整えることで、人と共に食べる楽しさを感じる
- ・手にとって食べられる食材を提供し「自分で食べたい」という意欲を養う
- ・柔らかい食材だけでなく、歯ごたえのある食材も提供することで、あごを鍛え脳に刺激を与える。
- ・なるべく薄味で添加物の少ない食材を提供することで、それぞれの食材のもつ自然の味や食感を知り、食材の「美味しさ」を実感する
- ・種植え、収穫を体験しながら、食材がどこから来るのか、その過程を理解することで、食材に興味をもち、自然の有難さを感じる
- ・クッキングなどの調理体験を通じて、食に興味をもち、意欲を育てる
- ・日本の伝統的なメニューだけでなく、外国から伝わったメニューを食することで、食べることと歴史、文化のつながりに興味をもつ

〈4〉 保健計画

園児健康診断	年2回（6月・12月）
歯科検診	6月
保健だより	月1回（25日）発行
職員健康診断	年1回
職員検便	全職員月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	別紙「2021年保健計画」を作成し、実施していく。 ・手洗いの歌を一緒に歌いながら行うことで、手洗いに親しみを感じ、正しい方法を伝えていく。手洗いが習慣付いた園児には「手洗いマイスター」の称号を渡す。 ・手洗い、うがい、歯磨きの意味を絵本や紙芝居で伝え、少人数ずつ実践をして正しい方法を伝えていく。
流行が予測される感染症	通年…新型コロナウイルス 感染予防のためうがい・手洗い指導を行う。3密を作らないよう可能な限り配慮する。 夏頃…手足口病、ヘルパンギーナ 冬頃…インフルエンザ、ウイルス性胃腸炎
発作・痙攣等の対応のための薬の預り	本園 ダイアップ…1名より預かり済み／調乳室冷蔵庫にて保管 抗アレルギー薬…2名より預かり済み／調乳室冷蔵庫にて保管 分園 抗アレルギー薬…2名より預かり済み／調乳室冷蔵庫にて保管
エピペン使用できる職員	本日現在27名が、研修受講し、習得済み。未受講の新入職員5名については5月31日までに受講予定。
その他保健に関する取組	虐待等の早期発見 新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検チェック	年6回／5・7・9・11・1・3月の25日
	事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検（備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・11月の25日
	情報セキュリティ	年2回／5・11月
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全職員

健康管理	予防接種状況・既往歴の確認／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断 ※認可園のみ歯科検診年1回	年2回／6・11月の30日頃（東京都0歳児のみ年12回実施）
運営管理	園児保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉 環境整備

「自分で考え、自分で行動する」「自ら行動する力を育てるとともに、他の子どもと試行錯誤しながら活動を展開する」を基本とし、子ども自らが環境に関わり、自発的に活動し様々な経験を積むことが出来る環境を整備する

- ・保育室は温かな親しみとくつろぎの場となるとともに、生き生きと活動出来る環境
- ・保健的環境や安全の確保に努めた環境
- ・コミュニケーション能力を育てるために、子ども自らが周囲の子どもや大人と関わっていくことができる環境
- ・じっくり集中して遊び込めるゾーン、やる気を支援する環境

7 危機管理(防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ)

- 原則、法人のマニュアルに則り行動する
- 過去の事例や予測される事故には職員全員周知の上、事故に発展することがないように注意喚起する。必要以上に危険回避をすることは子どもの「乗り越える力」「生きる力」を損なうことにもなりかねないので、職員全員の総意のもと意識の統一を図る
- 日ごろより防犯に対する意識を高めるために、毎月避難訓練を実施・シミュレーションを行う
- 事故・怪我においては心身共に苦痛を被った子どもと保護者の気持ちに誠意を持って応えることが重要である。どんな小さな怪我でも保護者に伝え忘れがないようにする。また、前日のどんな小さな怪我（発熱なども含む）でも伝達することにより、翌日の担当保育者が保護者及び子どもに言葉をかけ、状況を把握するようにする
- 上級救命士資格を有する職員集団のため、AEDの使用方法など、咄嗟の場合にも行動できるように訓練していく
- 防犯（不審者）に対する訓練は1年で2回実施。更に日々の生活の中で常に意識することが重要である為、散歩時における対応や園内における対応の仕方など会議などで都度意識喚起をする
- 園外保育の安全対策を徹底する。

8 実習生・中高生の受入

保育園は、地域の社会資源であり地域研修の場でもあるという考え方を大切にし、地域におけ

るボランティアや次の世代を担う保育・福祉の現場で活躍する人材を育成するために、小中高生の体験学習の受入、保育養成校の学生の実習受け入れ、一般および学生の各種ボランティアを積極的に受け入れる。特に最寄り駅となっている駒沢女子大学との保育実習や交流、採用に至るまで、今年度実現させたい。

9 職員育成と研修計画

園内研修の本来目的である『同僚と話し合い、自らの保育を振り返りながら次の課題を見出すために、職場内での研修を行う。』まずは、施設長自身が中心となり、全スタッフと膝を突き合わせて自園の保育を確実に良質にしてゆく場として園内研修を行うこと。子育てスキル研修年間計画は、職員同士が主体的に学び合う場としてエリア共通計画とすること。

※コンピテンシーのNO. 1「プロになる」、2「保護者の立場に立つ」については、チェックをするだけでなく、「自分が利用者だったら」を想像し、「涙が出るほど感動する対応」とは何かをスタッフ内で話し合い高め合う取り組みを記述してください。（運営本部Mission 2021_10）

新人研修

- 入社時オリエンテーション
- 現場OJT研修
- 保育品質マニュアル研修
(事務研修・ケガケーススタディ研修含む)
- コンピテンシー研修

保育スキル研修



←お迎え
対応研修

新人社員研修

- 新人社員研修
→ 会場研修
→ 系列園保育実地研修



←避難訓練研修

スタッフ研修

- 全社員研修 (年1回)
- 園内研修 (月1回以上)
- 保育スキル研修 (エリア別)
- リーダー養成研修 (9~2月)
- 業務改善研修 (月1回)
(=保育の質を上げる会議)
- 施設長勉強会 (月1回)
- デンマークインターンシップ (年1回)
- コンピテンシー自己採点 (月1回)
- 人権チェック (4月・10月)
- 外部研修
- 上級救命救急資格取得講習

① 2021年度園内研修計画(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月15日 (木)	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 児童・保護者の人権に関するチェック ③ エビペン講習会	人権について考え、日々子どもたちへの関わりについて振り返る。
5月20日 (木)	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修、保育指針の理解	実際の子どものエピソードから保育指針の理解を深める。
6月17日 (木)	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 水遊び、プール遊びの危機管理について	水遊びにおけるリスクマネジメントの強化

7月15日（木）	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 嘔吐処理のロールプレイ	感染症流行前に正しい嘔吐処理の仕方を学ぶ。
8月26日（木）	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② さくらさくらんぼリズムについて	リズム体操について実践を交えて学ぶ。
9月16日（木）	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 避難訓練の振り返り	災害時、不審者侵入時の対応（避難経路、避難場所、人数確認の仕方、持ち物の確認など）
10月21日（木）	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 児童・保護者の人権に課するチェック	人権について考え、日々子どもたちへの関わりについて振り返る。
11月18日（木）	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② エピソード研修、保育指針の理解	実際の子どものエピソードから保育指針の理解を深める。
12月16日（木）	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② ハザードマップの確認	園外保育のハザードマップの確認をする。
1月20日（木）	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育の振り返り	1年間の保育を振り返り、来年度の保育目標を考える
2月17日（木）	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育計画の見直し	今年度の保育計画の振り返りと次年度の計画を考える。
3月17日（木）	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ②	

② 2021年度子育てスキル研修計画(エリア共通計画)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	会場	総予算	按分子算
4月16日（金）	18:30～19:30	運動あそび① ～子どもが楽しんで運動が出来るために～	清瀬どろんこ 保育園	0円	0円
6月11日（金）	18:30～20:00	運動あそび② ～運動遊びから子どもが得るもの～	板橋仲町どろんこ 保育園	0円	0円
6月26日（土）	09:30～11:30	竹で作る玩具～水鉄砲で遊ぼう～	読売ランド前 どろんこ保育園	0円	0円
7月20日（火）	18:00～19:00	前向きになるコツ	メリ～★ポピンズ 稲城ル～ム本園	0円	0円
8月13日（金）	18:30～20:00	運動あそび③ ～子どもの遊びの困難さの要因を 発達の視点で検討する～	三鷹どろんこ 保育園	0円	0円
8月30日（月）	18:30～20:00	あ！擦りむいた！！そのとき体の中では??	メリ～★ポピンズ 登戸ル～ム	0円	0円

10月8日(金)	18:30~20:00	運動あそび④ ～冬に向かって体を動かして遊ぼう～	中里どろんこ 保育園	0円	0円
10月29日(金)	18:30~20:00	3歳からの性教育(命の大切さ)	中里どろんこ 保育園	0円	0円
11月20日(土)	10:00~11:30	世界を知ろう	武蔵野どろんこ 保育園	0円	0円
12月10日(金)	18:00~19:00	性(生)教育	板橋仲町どろんこ 保育園	0円	0円
12月16日(金)	18:30~20:00	運動あそび⑤ ～運動遊びの重要性・1年間のまとめ～	読売ランド前 どろんこ保育園	0円	0円

予算内訳(5課近隣園合同開催)

開催日	予算	予算の内訳		例) 6園で按分した自園負担額
年4回 見守る保育	60,000円	講師代(交通費含む)	60,000円	10,000円
年2回 表現活動	66,000円	講師代(交通費含む)	66,000円	11,000円
合計	126,000円			21,000円

③ 外部研修への出席

2～3月実施の「外部研修受講アンケート」に基づき、施設長および運営部が推薦する。

④ 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修(保育の質会議)	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
全社員研修	2021年度内に新型コロナウイルスの感染予防策を検討して開催予定。正職員およびパート・アルバイトを含めた32名の職員が出席予定											
リ～ダ～養成研修	選ばれた職員が参加予定											
デ～マ～クリ～ク～ア～ン～ソ～ウ～ブ	希望する職員が応募											

⑤ 職員個人別育成計画

施設長が年2回(5月16～24日と11月1日～12月9日)実施するフィ～ドバック面談時

に「個人ごとの次半期の目標設定と併せて、次半期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。

10 地域交流計画

具体的な地域交流計画

青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：亀山下公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を積極的に行い、多様な年齢層との交流の中で人との繋がりを大切にしていく。「物おじせず、誰とも目を見て話ができる子ども」を育む ・お年寄りを大切にする優しい心を育む（介護施設訪問）
異年齢交流	<ul style="list-style-type: none"> ・主体性、自主性を育てる ・仲間との葛藤を体験しながらお互いを認め合い、自らも肯定する気持ちを育む ・自然体験活動など異年齢で体を動かし、遊ぶ活動を充実させ自分で考え、挑戦する勇気を育む
地域拠点活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のすべての子育て家庭を対象とし、毎月行う ・小中高生の育児体験受け入れ
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

11 小学校との連携の計画

- ・「5歳児と小学校1年生との年間連携系計画および報告書」を作成 ※別紙参照
 - ・保育所保育要録の送付
 - ・保育園から小学校への就学を円滑に進めるために、園児が小学校へ行く機会を設け、特に小学校1年生との子ども同士の交流の場を設ける
 - ・保育園での保育内容、小学校での教育内容をそれぞれの職員が理解し合える場を設け、相互に関連しつながらるように工夫しようとする機会をつくる
- 以下計画について、小学校と相談・協議を5月以降開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	計画したい活動名（会場）	内容
11月頃	南山小学校 1年生	14名予定	交流会（南山小校庭）	子ども間交流
11月頃	南山小学校 1年生	14名予定	交流会（当園幼児保育室）	子ども間交流
10～11月頃	南山小学校 1年生	5名予定	授業参観（南山小教室）	職員間交流
1～2月頃	稲城第三小学校 1年生	14名予定	交流会（第三小校庭）	子ども間交流
1～2月頃	稲城第一小学校 1年生	14名予定	交流会（第一小校庭）	子ども間交流

12 要支援児計画

【個別支援計画の作成・見直し】

生活習慣、感覚機能、言葉、人とのコミュニケーションなどの項目で計画を作成し、評価を記録する

【毎月のケース会議開催】 4～3月に計12回開催予定

園児の状況を踏まえ、個別指導計画の見直しと課題、改善点について話し合う

インクルーシブ保育を実現するための課題と改善点、保護者支援の仕方について話し合う

【進級引継、および、小学校への引継】

保護者の了承を得た上で、行政の機関と連携し、進学予定の小学校とも情報を共有していく。

13 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい月間延来場者数を自治体に報告する。

子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
自然食堂…親子ランチ交流	毎週(水) 10:00～12:00
芸術学校 自然学校	毎週(金) 10:00～12:00
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センタ～主催)	月1回 公園名: 亀山下公園にて開催

14 福祉サ～ビス第三者評価の受審

2020年度受審済み

15 園による自己評価の実施

2021年秋頃に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：8時30分

自己評価終了予定時刻：17時30分

自己評価実施予定者：施設長、主任、保育士、調理員

16 メリ～ポピンス稲城ル～ム3か年計画の具体化

コロナというタイミングでの施設長1年目であった。昨年度のやり残した内容を今年度はやり遂げたい思いと、新しい時代の潮流に乗り子どもたちにどのように関わっていくのか、新時代の保育というものを、スピ～ド感を持ち職員と一体化して模索していきたいと考える。

【2021年度】

「見守る保育」の実践

・生活の流れ（デイリ～プログラム）を定着させる。朝礼後、リズム体操、雑巾がけ、座禅、園外保育9時出発からスタ～トする。曜日によって展開する午後の体育あそび、音楽あそびなども取りこみ、「帰りの会」では翌日を期待できるように子どもの意欲や楽しみを高めていきたい。上唇のぶつけるけが絶えないので、朝のスタ～トはリズム体操で体の安定、雑巾がけで手腕を意識させていく。毎朝9時出発の実現のためには保護者もしっかり巻き込んでいきたい。

・「環境を通した保育」を実践するために、職員の資質向上が不可欠である。子どもの理解を深めるためにエピソ～ド研修を実施し、子どもを見る目を確かなものにしていく。また表現活動として畑の収穫物の展示から造形表現を設定するなど、やりたいと思ったときに実現できる環境、明日に繋がる遊び空間を生み出していく。

・園外保育は日々の日課であるため、品質向上を図る。見失い事故等起こさないため安全管理を徹底していく。そのためには職員の連携が欠かせない。時には施設長、主任が同行し馴れ合いにならないよう安全を担保していく。また散歩先での遊びの充実を図る。ただ目的地を選び遊ばせるのではなく、保育士はねらいを持ち園では経験できない遊びを意識的に実践する。妙見寺や里山という恵まれた地域資源の活用はもとより、砂場遊びの発展や発達に合わせた固定遊具の使用など職員と考えていく。

・昨年度できなかった本園、分園の職員交流を進めていく。同じ目標でも環境が違えば保育も変わることを、職員を交換し肌で感じて学びにしてほしい。2園あることを1/2と捉えるのではなく、2倍と捉えていけるようにしたい。

【2022年度】

「見守る保育」の定着

・稲城の保育の特色が色濃くなり、職員たちが保育の面白さを感じながら保育をしている。子どもの実態から今までにない発想の保育の発展も見られるようになる。

【2023年度】

「担任制度から乳児担当、幼児担当へ」

・子どもの発達をしっかり捉えた職員集団になり、クラスの枠を超えて乳児、幼児の担当という大きな視点での保育が展開されている。

以上